

団体運営費補助金調査票（表）

補助金名	成田ボランティアガイドの会補助金
------	------------------

担当課	シティプロモーション部 観光プロモーション課	実施主体	成田ボランティアガイドの会										
科目・事業コード	<table border="1"> <tr> <th>会計</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>事業</th> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>07</td> <td>01</td> <td>03</td> <td>06 - 01</td> </tr> </table>	会計	款	項	目	事業	一般	07	01	03	06 - 01	R06 予算額	100 千円
会計	款	項	目	事業									
一般	07	01	03	06 - 01									
新規・継続の別	継続	R05 予算額	100 千円										
補助・単独の別	市単	R04 決算額	0 千円										
補助の種類	団体運営費	R03 決算額	0 千円										
交付開始年度	平成 13 年度	終了予定年度	令和 8 年度										

事業の目的・概要	<p>成田ボランティアガイドの会は、成田山新勝寺、宗吾霊堂を中心とした成田市周辺の名所・旧跡の観光案内を無料で実施し、国際観光都市成田としての魅力の向上に努めている。</p> <p>市として当該団体に補助金を交付し、地域資源を活用した「にぎわいのあるまちづくり」の実現に向けた人材育成を推進する。</p>	補助対象事業	<p>①円滑なガイドの運営活動（保険加入、事務用品等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予約受付 ・案内の実施 ・案内実績の記入、報告、保管 <p>②ガイド向上のための研修視察、内部研修活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入会研修 ・講師による講演会 <p>③外国人対応のガイド活動（資料、図書購入）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料収集 ・講師による英語講演会、研修会 ・英語ガイドマニュアル作成 																				
根拠法令等	<ul style="list-style-type: none"> ・成田市補助金等交付規則 ・成田ボランティアガイドの会補助金交付要綱 	補助基準等																					
留意事項		補助	・補助基本額 100千円																				
決算内訳	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">令和 4 年度決算額 (単位：千円)</th> </tr> <tr> <th>収入額</th> <th>支出額</th> <th>翌年度繰越金</th> </tr> <tr> <td>239</td> <td>147</td> <td>92</td> </tr> <tr> <th>収入額の内 自主財源</th> <th>市補助金額</th> <td></td> </tr> <tr> <td>239</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <th>自主財源比率</th> <th>繰越金/補助金</th> <td></td> </tr> <tr> <td>100.0%</td> <td>#DIV/0!</td> <td></td> </tr> </table>	令和 4 年度決算額 (単位：千円)			収入額	支出額	翌年度繰越金	239	147	92	収入額の内 自主財源	市補助金額		239	0		自主財源比率	繰越金/補助金		100.0%	#DIV/0!		率 額
令和 4 年度決算額 (単位：千円)																							
収入額	支出額	翌年度繰越金																					
239	147	92																					
収入額の内 自主財源	市補助金額																						
239	0																						
自主財源比率	繰越金/補助金																						
100.0%	#DIV/0!																						

団体運営費補助金調査票（裏）

評価項目	内 容	評 価	評 価 理 由
公益性	基本構想、実施計画、個別計画など市の施策の方向性と合致しているか	はい	成田市総合計画の基本目標に掲げる「地域資源を活用したにぎわいのあるまちづくり」に合致する。
	市民の利益に寄与することができるか（「はい」の場合、選択式）	はい	ウ、地域の経済・産業の振興・雇用の促進に寄与することができる活動に該当
	市民協働を推進する目的があるか	はい	不定期に会員を募集し市民参加を促している。
	事業を実施できる団体は他にないか	はい	特になし
必要性	事業の目的・視点・内容が、社会経済情勢や市民ニーズに適合しているか	はい	観光は本市の主要な産業の一つであり、市内の経済発展に寄与する。
	市が関与する必要性があるか	はい	文化観光資源の魅力発信の手段として継続していく必要がある。
	事業を実施しなかった場合に、大きなマイナスの影響があると認められるか	はい	市が独自に実施するには大きな労力や費用が必要となる。
	類似の事業はないか	はい	特になし
適格性 (妥当性)	団体等の活動内容が、補助目的と合致しているか	はい	令和6年度から令和8年度の活動について、地域資源を活用したにぎわいのあるまちづくりにおける人材育成という目的に合致する。
	団体を支援するに当たり、補助金の交付が適切な手段であるか	はい	基本的に収益性が見込まれないため、これを補完する必要がある。
	団体の会計処理や補助金の使途は適正であるか	はい	事業計画書に沿った処理がされている。領収書、預金通帳等により使途を確認できる。
	団体の決算における繰越金（剰余金）が補助金の額を超えていないか	はい	R04年度決算：補助額0円、繰越額92千円
	対象経費は、規則・要綱等により規定されているか	はい	成田ボランティアガイドの会補助金交付要綱により、補助対象経費を定めている。
有効性 (費用対効果)	補助金を交付することによる効果を明確に示すことができる指標等はあるか	はい	年間の案内実績 (R2：383件、R3：609件、R4：1,295件)
	補助金額に見合う効果があると認められるか	はい	市の観光施策に大きな役割を果たしており、行政だけでは行うことのできない事業に取り組んでいる。
	事業を継続するうえで、補助は必要不可欠であるか	はい	当該団体の自主財源は乏しく、今後も事業継続を図るためには、市が支援する必要がある。
	補助期間（終期）を設定しているか	はい	令和8年度を終期としている。

最終評価	改善
評価者 所見	当該団体に対する補助金の使途は、観光案内活動に要する事務用品や、スキルアップを目的とした研修に要する経費等であるとともに、活動内容は、本市を訪れる国内外の方へ観光資源の魅力を伝える役割を担っている。本市の事業目的に合致しているものの、ボランティアという性質上、自主財源の確保は限定的であることから、補助を継続することにより活動を支援する。しかしながら、補助金の使途を明確化するため要綱を整理することとする。